

町村議会広報研修会に参加して

広報編集特別委員会 副委員長 深貝 仁則 議員

9月25日、ニッショーホール（東京都港区）において開催された「令和6年度町村議会広報研修会」（主催：全国町村議会議長会）に、宮嶋健太郎委員長とともに参加した。

当日は、全国から約1000人の町村議員が参加され、魅力あふれる議会広報を編集するための考え方や工夫を専門家や他町から学んだ。

1人目の講師、元行政職員の中本正樹氏からは「読まれる議会広報紙の作り方」について講演していただいた。

読まれる広報紙は、読む人の心の変化を設計している、読む人側の視点で作っていると話された。

ネタ集め、写真撮影のコツ、魅力的なレイアウトなど、読まれる広報紙を作るために大切なことを学んだ。

2人目の講師、グラフィックデザイナーの平

本久美子氏からは「パッと伝わる広報紙に！やってはいけないデザイン講座」について講演していただいた。

デザインする前にターゲットを決める、フォントを適材適所に使う、余白を作り整列させて見やすい紙面にするなど、伝わる広報紙作りの具体的な方法を分かりやすく説明していただいた。

3人目の講師、埼玉県寄居町議会広報広聴特別委員会委員長の鈴木詠子氏からは「読まれない議会だよりに出す意味なし『聴く・動く寄居町議会の挑戦』」について講演していただいた。

日本一クオリティーの高い広報紙を目指し、多くの町民登場を心掛け、予算・決算・重要案件には、議会と町民それぞれの視点を掲載するなど、独自の編集方針をいくつも設けていた。

また、QRコードの活用による関連ホームページへのリンクや、必要に応じて資料映像を作成するなど、様々なメディアを駆使し、広報紙を作っていた。

特に驚いたのは、議員が直接取材した町民の生の声を、本人の写真・名前付きで広報紙にありのまま掲載している点である。「聴く・動く」を大切にし、広報紙作りに熱心に携わる姿に感銘を受けた。

専門家や他町の講演を聴き、多くのことを学ぶことができた。研修で学んだことを、今後の広報編集に活かしていきたい。



西南濃管内町議会議員研修会に参加

10月2日（水）、大垣フォーラムホテルにおいて西南濃管内町議会議員研修会が開催された。この研修会は西南濃6町の議会議員の研修と交流を目的に開催されている。

今回は、清流の国ぎふ防災・減災センターのコーディネーター村岡治道氏を講師に迎え、「大雨避難の課題と対策」について講演を聴いた。



自治功労者特別表彰を受賞



宮嶋 三郎 議員



飯沼 満 議員



宮川 一美 議員

10月8日、岐阜県町村議会議長会定期総会において、自治功労者表彰授与式が行われ、宮川一美議員、飯沼満議員、宮嶋三郎議員が表彰されました。

この表彰は、議員在職年数が25年を超え、地方自治の振興と地域の発展に寄与された功績をたたえるものです。

今後のますますのご活躍をお祈りします。

ふるさと再発見



喚鐘（半鐘）

表紙の写真は、神戸町下宮の勧学院の「梵鐘」です。昭和33年9月30日に町重要文化財に指定されています。

この梵鐘は昭和8年に製作され、製作年代としてはそれほど古くはありませんが、由緒が古く、鐘銘にその由緒が記されています。信願寺の梵鐘、善学院の梵鐘とともに、神戸町の三名鐘の一つです。

勧学院本堂の東南隅の庇には、梵鐘の半分ほどの大きさの喚鐘（半鐘）もあります。こちらにも梵鐘と同じに町重要文化財に指定されています。勧学院を訪れた際には、ぜひこちらもご覧ください。

12月定例会のお知らせ

☆会期の日程

- 12月2日（月）
開会、議案の説明
- 12月11日（水）
一般質問
- 12月12日（木）
議案の審議

☆場所

役場3階 議場

☆時間

午前9時30分から

